

さらに役立つ日商簿記へ

累計2,500万人受験の簿記検定に、
4月から短期間で基礎知識を習得できる『初級』を新設



日商簿記検定は、企業の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財務状態を明らかにする技能です。企業が求める資格第1位として評価を受けており、1954年に施行を開始して以来、累計で2,500万人を超える方に受験いただいています。平成29年4月より、1～3級に加えて、簿記初学者向けの入門級として「簿記初級」がスタート。「簿記初級」はインターネット受験方式ですので、学習の進捗にあわせて随時試験を受けられます。3級に向けてのマイルストーンとしても活用できます。

級	レベル	受験料(税込)	試験会場	試験日
初級	簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、業務に活用することができる	2,160円	インターネット受験 本所パソコン教室 他 本所ビル地下1階 TEL 075-254-7701 4月以降随時実施	受験者のご都合にあわせ、平日夜・土曜日の設定も可能。左記試験会場まで直接お問い合わせください。
3級	ビジネスパーソンに必須の基礎知識。初歩的な実務がある程度できる	2,800円	京都市内の下記を予定 ・京都産業大学 ・同志社大学 (今出川または新町キャンパス)	第146回 6月11日(日) ※申込4月12日(水)～
2級	経営管理に役立つ知識として、最も企業に求められる資格の一つ	4,630円	・龍谷大学 ・大原簿記法律専門学校京都校	第147回 11月19日(日) ※申込9月20日(水)～
1級	公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門。大学等で専門に学ぶ者に期待するレベル	7,710円	・TAC京都校 ・京都IT会計法律専門学校	第148回 平成30年2月25日(日) ※2・3級のみ ※申込1月4日(木)～ <small>(書店・コンビニ・ネットにて受付)</small>



東洋大学教授
慶応大学名誉教授
竹中平蔵さん

人間は、社会の中で生きていますから、お互いが意思疎通するためには言語が必要です。簿記も経済活動を理解するための言語です。日本語や英語と違って、一つ一つの数字自体に意味があるわけではありませんが、例えば、後払いで販売した売掛金の金額や、借り入れた債務の金額は、その会社の財務の状態を表します。簿記は英語よりも世界中で広く使われている共通の言語であり、これからのグローバルな社会で生きていくためにも欠かせないのです。中学や高校で全員が学ぶべきだと思えます。

今は世の中がどんどん複雑になっています。ビジネスの舞台が国内から海外に広がり、商取引が複雑になっていきます。会計の制度が変わる場合もあります。このように複雑な環境に対応するために、一番大切なことは知識ではなく基礎を身に付けていることです。経済では「基礎」である簿記が重要になります。

私も若い頃に日商簿記3級の試験を受けて合格しました。その時の強烈な印象は今でも忘れられません。「簿記という体系を考えた人は、本当にすごい」と思いました。複式簿記は、人類にとって非常に重要な発明だと思えます。

簿記を必要とするのは、経済を勉強する人や、会社で経理を担当する人ばかりではありません。日々の生計を立てていくためには、収入と支出による収支と、手持ちの現金や預金などの資産の増減、つまり簿記を考える必要がありますよね。年金のことや金融商品のことを考えたり、専門家からアドバイスを受けるためにも、簿記の知識が役に立ちます。

日商簿記検定はよくできた仕組みだと思えます。何も知らなかった人が、きちんと勉強すれば合格という目標に到達し、3級の勉強をすることで経済の基礎がわかるのですから。試験を受けずに学ぶだけでも意味はあります。資格を持つていれば「自分には基礎がある」という安心感が生まれ、「いざというとき」に強みを発揮します。「勉強はしたくない」と思っている方も、簿記3級だけは取ることを強くお勧めします。皆さん頑張ってください。

簿記のススメ ～有識者からのメッセージ～

経済評論家
勝間 和代さん



女性が社会や企業で活躍するには、「この人がいてありがたい」と思われることが必要です。そうでないと、「出産休暇や育児休業を取得することは会社のコストである」という発想になりかねません。そうならないための手段の一つに、簿記があります。

簿記の知識を活かせば、「どのように費用が発生し、どのようにお客様から回収するか」など、ビジネスモデルの議論ができるようになります。固定費や粗利、顧客数などを念頭に、損益分岐点を意識してビジネスをするのが本来の姿です。でも、現実には、それができる人材は限られていて、女性の場合はさらに少ないと思えます。

こうした、ビジネスに対する皮膚感覚を身に付けることが、女性にとって必要で、それを磨くには簿記の習得が一番です。簿記は細かな目配りを必要とする一方で、体力勝負ではないので、女性が勉強するのに向いていると思います。家計簿の延長だと思えばいいんです。

ビジネスの世界で生きる女性の方にアドバイスしているのは、会社の中核として期待されるライン職を目指せ、ということなんです。会社内で「この人に代わる人材はいない」と判断されれば、産休や育休も取りやすくなります。

簿記は「小さなMBA(経営学修士)」と言ってもいいと思います。MBAを取るには数百万円単位のお金が必要ですが、簿記であれば検定受験料と学習のための費用で済みます。実際、1級や2級を持っていけば就職や転職の時にかなりアピールできます。

資格を持つことの意味も考えていただきたいですね。資格を取ることは、当該分野で一定の能力やスキルを習得したことの証明である、と考えている方が多いと思いますが、本当に価値があるのは「資格を取得するために、計画を立て、合格するまで努力すること」です。資格は一定のレベルに到達するまで研鑽を続ける自己統制力がある「この人の証であり、これを持っていれば、職場でも困難な仕事をやり遂げられるだろう」と評価されるわけです。資格取得により職場で「この人がいてありがたい」と思われる人材を目指してください。

簿記検定講習会・セミナー・講座のご案内

◆本所では、11月施行の3級合格を目指す**簿記検定講習会**を8月23日～11月8日までの水曜日18:30～21:00、全15回にて開催します。この他、定期的にTAC京都校、大原簿記法律専門学校と共催で、簿記無料セミナーを実施しています。

お問合せ 本所 人材開発センター簿記検定係 TEL 075-241-1377 URL <http://www.kyo.or.jp/kyoto/examination/>

◆本所パソコン教室では、お好きな時間に学習できる**簿記対策講座**を開講しています。4月15日からは**簿記初級講座**も開講。

お問合せ 本所 パソコン教室 TEL 075-254-7701